

## 商工センター地区まちづくりビジョン（素案）に対する市民意見募集の結果について

### 1 募集期間

令和7年2月17日（月）から令和7年3月14日（金）まで

### 2 募集方法

- (1) 広島市ホームページへの記事掲載
- (2) 窓口での閲覧・配布（都市機能調整部、公文書館、各区区政調整課）
- (3) 広報紙「ひろしま市民と市政（令和7年3月1日号）」への記事掲載
- (4) 市政記者クラブへの情報提供

### 3 募集結果

- (1) 応募者の数：19人・団体
- (2) 意見の数：68件
- (3) 意見の内訳

内 容	件 数
ア ビジョン全般に関すること	8件
イ MICE施設に関すること	20件
ウ 交通に関すること	21件
エ にぎわいに関すること	7件
オ その他	12件
計	68件

意見に対する市の考え方

ア ビジョン全般に関すること：8件

	意見の要旨	本市の考え方
1	まちづくりの将来像の「国内外からヒト・モノ・カネ・情報を呼び込み経済活力を生み出すまち」に大変共感した。	商工センター地区の商業・市場・流通・MICE・居住機能が連携しながら一体性を高めることにより、年間を通じて多くの市民や観光客などが地区を訪れることで、地区全体の活力や魅力向上につながり、さらには、広島広域都市圏の活性化にも資するまちづくりを目指すこととしています。
2	商工センターの再整備に期待したい。広島駅周辺や紙屋町・八丁堀周辺地区に次ぐ広島市の第2、第3の都心として機能するよう、スピード感を持ってまちづくりを進め、若者が広島に残り、転出超過を改善する一手としてもらいたい。	このビジョンによる関係者の共通認識のもとで、行政からの適切な支援とともに、関係者の協力や民間投資なども得ながら、地域と行政が連携して着実にまちづくりを進めていきます。
3	広島駅から宮島に向かう観光客はその間をほぼ素通りをしており、この間に多くの人が訪れたいような魅力的な施設があれば、沿線の商業施設ににぎわいの創出や経済波及効果が期待できる。	
4	観光客向けのサービスよりも、広島市民で良かったと思える市民向けのサービスを実施してもらいたい。	
5	広島空港が移転する際に竹原を玄関口にしようとしたが現状では成功しているとは言えない。 また、五日市港に大型客船が寄港する際のインバウンド需要も期待されたほどの影響が無いことから、この地区を西の玄関口にするという構想は費用に見合う効果が見込まれないのではないかと。	施設整備による効果を地域全体に広げていくためには、その施設のみならず、ヒトやモノの動きを支える交通機能の強化が不可欠です。 商工センター地区は、広域的な物流ネットワークの拠点として既に、各方面にアクセスしやすい道路が整備され、また、JR山陽本線や広島電鉄宮島線の2つの鉄道があるなど交通条件に優れた地区といえます。 さらに、西側から商工センター地区への入口ともなる広島南道路の廿日市インターチェンジから木材港までの区間について、国において整備に着手されミッシングリンクが解消される見通しとなったことから、こうした地区のポテンシャルを活かして、交通機能との連携を意識しながら確実にまちづくりを進めていくことにしています。

意見の要旨		本市の考え方
6	広島市の人口減少と財政状況を考慮すると、全ての施設を建設することが可能かどうか疑問である。	現在、本市は近隣 30 市町と広島都市圏構想の実現に向けた取組を進めていますが、これは、人口減少・少子高齢化が進展する中において圏域経済の活性化や圏域内人口 200 万人超の維持を着実かつ確実に目指すためのものです。
7	にぎわいづくりという言葉が多用されているが、人口減少、高齢化のなかで、無理のない計画にするべきである。	商工センター地区については、埋立竣工後 40 年が経過し、地区のあり方を見直す時期を迎えてきていることから、広島都市圏構想の実現に資するための取組を開始することにしたものです。 この取組に当たっては、持続可能な財政基盤の構築に意を用いつつ、事業の選択と集中を一層徹底しながら、着実に進めていくことにしています。
8	地域からの提案を基に市がビジョンとすることに疑問がある。地域からの提案に乗るのであれば、民間からの寄付、出資、投資を多く要求するべきである。	地域からの提案は、地域の事業者のみならず、広域的なまちの発展にも資する内容となっており、こうしたまちづくりを地域と共に進めていくためにビジョンを策定しました。策定したビジョンは、地区の事業者等が自らの地域の活性化に向けた約 10 年間にわたる議論を踏まえたものであることから、まちづくりに当たっては、地域と行政が連携して着実に進めていくこととしており、民間投資や関係者の協力なども見込んでいるところで

イ MICEに関すること：20件

意見の要旨		本市の考え方
1	MICEが一日も早く実現することを願う。	<p>当地区は、広域的な物流ネットワークの拠点として、各方面にアクセスしやすい道路が整備され、また、JR山陽本線や広島電鉄宮島線の2つの鉄道があるなど交通条件に優れた地区といえます。</p> <p>こうした地区のポテンシャルを活かしつつ、既存のMICE施設の規模や機能を拡充したものを、周辺の商業・市場・流通・居住機能との連携や一体性を高めることが可能となる場所に移転更新することにより、地区全体の魅力向上につながり、さらには広島広域都市圏の活性化にも資するものになると考えています。</p>
2	<p>井口・商工センター地区は広島市の副都心的な拠点としてもっと注目されてよいポテンシャルを持つエリアだと思う。</p> <p>札幌、仙台、福岡とともに地方中枢都市でありながら、これらの都市に比べて展示会場や宿泊施設がかなり少ない状況のため、インバウンドの増加や広島市の魅力・求心力の向上のためにも、MICE施設の整備は良い案だと思う。</p>	
3	<p>MICE施設の立地は、アクセスやイベントの誘致を考慮すると、より広域的な視点で考えるべきであり、例えば中央公園などの方が、より大規模な施設や誘致が実現できる可能性があるのではないかと。</p> <p>商工センターに整備するのであれば、より駅に近い立地にした方が利便性は高いのではないかと。</p>	<p>MICE施設（展示室等）の詳細について具体化していく過程で、市内にある候補地との比較や、現在ある他のMICE施設との役割分担などについて、広域的な視点に立って利用者目線も踏まえながら整理していくこととしています。</p>
4	<p>多くの候補地を比べて最適とした理由も明示すべきではないかと。</p> <p>県立広島産業会館や市内の他のMICE施設などと将来どのように連携していくのか利用者目線で明らかにしてもらいたい。</p>	
5	コンサートなどにも対応できる大きな会場を整備してもらいたい。	<p>MICE施設（展示室等）の規模については、需要調査の結果なども踏まえ約6,000㎡を想定していますが、詳細については今後検討を進めていく中で具体的にしていくこととしています。</p> <p>なお、将来的には、需要に応じながら展示室の拡張を検討することとしています。</p>
6	約15,000人規模の施設となれば、広島の有名音楽アーティストのライブ誘致も活性化するのではないかと。	
7	MICE施設は、国内外の誘致を考えると、最低でも10,000㎡以上の規模が必要ではないかと。	

	意見の要旨	本市の考え方
8	MICE だけでは稼働率が心許ないので、商業利用の制約がないアリーナ機能も併設してはどうか。	アリーナ機能を有する現在の広島サンプラザ（ホール棟）は、耐震性を有しており耐用年数も残っていることから当面このまま活用することとし、将来的には、施設の耐用年数や地域の利用者の利便性なども考慮しつつ代替施設を整備することとしています。この際の当該施設のあり方については、他のホール施設との役割分担などを考慮した上で、どういった施設がふさわしいか今後検討していくことになるかと考えています。
9	展示室が小さすぎるのではないかと。中途半端なものでは都市間競争に勝てないと思うので、敷地全体を使って多目的ドーム（アリーナ）を整備すれば、大物アーティストのコンサートが広島で開催されることも期待でき、会場の間仕切りにより展示会場として利用できるほか、ドラゴンフライズのために別途アリーナを整備する必要もない。	
10	バスケットボールチームが広島駅北にアリーナの建設を検討しているという話があるが、国際大会を開催するためには十分な観客収容能力や駐車スペースを備える必要がある。商工センターにバスケットボールの国際大会が開催できるアリーナを建設してもらいたい。	
11	プロバスケットボールチームが広島駅周辺にアリーナ建設の構想を掲げている中で、商工センターにもアリーナを整備すると二重投資になるのではないかと。	
12	まずは、中小企業会館の場所に幕張イベントホールのようなアリーナを整備してはどうか。サンプラザの場所には2つのホテルを整備して、夜景が眺められ賑やかに飲食ができる場所にし、将来的には MICE 施設とすることを希望する。	
13	ライブでのジャンプ応援などによる事故を避けるために、段差が生じる固定式の座席は設けず、必要に応じて折りたたみ椅子を活用するなど柔軟にレイアウト変更できる仕組みにするべきである。	MICE 施設（展示室等）の機能については、催事参加者や主催者にとって使い勝手がよく多様な催事が開催できることなど、コンサート等も含め多目的かつフレキシブルな施設にしていく必要があると考えています。詳細については今後検討を進めていく中で具体的にしていくことにしていますが、現時点では、固定式の座席を設けることは想定していません。

意見の要旨		本市の考え方
14	県立図書館や福山市立図書館のように、景色を楽しめて自習もできるこどもから高齢者まで利用できる広いスペースがあると良いのではないかな。	MICE 施設（展示室等）の具体化に当たっては、年間を通じて多くの市民や観光客が訪れることを期待しているところであり、日常的な活用策や多様な催事を誘致するための支援策などについて検討する中での参考とさせていただきます。
15	新たな展示施設では、草津や井口などの貴重な歴史（西国街道や宮島、太田川、草津漁港など）や文化等について企画展示などを行うとともに、参考となる文献等の情報をストック・検索できる機能があると良いのではないかな。	
16	瀬戸内国際芸術祭のようなアートイベントや個展などを開催してもらいたい。	
17	誘致を考えている展示会などのイベント例を示してもらいたい。	MICE 施設（展示室等）で行うイベントの内容など具体的な活用策については、今後、施設の詳細な検討を進めていく中で具体にしていけます。
18	ホテルの誘致は歓迎するが、外資系企業ではなく、広島を良くしようと考えてくれる国内企業に参入してもらいたい。	ホテルについては、MICE 施設による周辺への民間投資の誘発などを踏まえながら民間事業者による整備を想定しています。 いただいたご意見については、今後、具体的な取組に当たっての参考とさせていただきます。
19	商工センター地区内で働く人々や観光客などが利用できるホテルを誘致してもらいたい。	
20	広島で起業を志す人や出店を希望する企業に対して、期間限定でサポートできる場があると良いのではないかな。	本ビジョンにある地区内事業者等の交流拠点（アクティビティセンター）は、地域からの提案にあるコワーキングスペースやシェアオフィスなどの地区内関係者などによる日常的な共営・共創の場をもとにしたものであり、今後、地区内関係者と共に整備内容の具体化を図ることとしています。 いただいたご意見については、今後、具体的な取組に当たっての参考とさせていただきます。

ウ 交通に関すること：21件

意見の要旨		本市の考え方
1	JR 新井口駅にエスカレーターを整備してもらいたい。	<p>駅については、地区の発展にふさわしい交通結節点にしていくため、交通事業者と連携しながら利用者の利便性や安全性の向上に資する機能強化に取り組むことにしており、まずは、バリアフリー化の早期実現に向けてエレベーターの設置を進め、その後、まちづくりの進展などに応じて滞留空間の拡大や動線の確保などの改良に取り組むことにしています。</p> <p>いただいたご意見は、今後、具体的な取組に当たっての参考とさせていただきます。</p>
2	JR 新井口駅までのアクセスをエスカレーターやエレベーターなどで近代化してもらいたい。	
3	JR 新井口駅改札前の広場を拡張して、コンビニ以外にもパン屋や弁当屋などがあっても良いのではないか。	
4	<p>商工センター地区内で働く人々が利用できる飲食店を充実するなど隣接する駅ビルを建て替えてもらいたい。</p> <p>また、駅周辺に学生が集う施設も充実させてもらいたい。</p>	
5	バスや広島電鉄宮島線などもあるが、広域から集客できる JR をもっと活用できるのではないか。	<p>JR 山陽本線や広島電鉄宮島線という2つの鉄道があることは当地区の大きなメリットであると考えており、地区の発展にふさわしい駅にしておくため、交通事業者と連携しながら、利用者の利便性や安全性の向上に資する機能強化に取り組むこととしています。</p>
6	MICE 施設や駅などの主要な施設をペDESTリアンデッキで結ぶだけでは、回遊性が生まれず活性化にはつながらないのではないか。	<p>ペDESTリアンデッキの整備に当たっては、回遊性が生まれる前提条件が整った上で進めていく必要があると考えており、まずは、展示施設やホテル等の整備にあわせて延長し、その後、草津漁港までの間については、市場のにぎわい施設や観光船の就航等による港周辺の誘客状況なども踏まえて検討していくことにしています。</p> <p>また、既存区間も含めて、使ってもらえる工夫や仕掛けも考えていくなど、まちづくりの進展に応じた回遊性の向上を図ることとしています。</p> <p>なお、回遊性の向上に向けては、ペDESTリアンデッキだけでなく、地区内を運行する循環交通やパーソナルモビリティの導入などにも取り組むこととしています。</p>
7	MICE 施設と中央市場は距離も離れており、また、暑さや寒さの影響も受けるため、ペDESTリアンデッキでつなぐ構想には無理があると思う。	

意見の要旨	本市の考え方
8 将来的には、漁港とレクト、駅、ジ アウトレット広島方面をつなぐ移動手段として、自走式ロープウェイ「Zippar」を取り入れるのも良いと思う。	ご提案の Zippar（自走式ロープウェイ）やエコライド（省エネルギー型交通システム）は、自動運転や超小型モビリティ、空飛ぶクルマなどのスマートモビリティの形態の一つとして含まれるものと考えています。
9 自動運転のため、飲酒後でも利用可能で、空いた車両は物流にも活用できる自走式ロープウェイ「Zippar」を推奨する。井口台や鈴が峰までつながれば地域の価値が向上するほか、市内中心部や観音方面までつながれば大きなビジネスチャンスが生まれるため、まずは試験線の導入と調査予算を確保してもらいたい。	こうした新技術を活用した交通 DX・GX についても、地域の関係者と連携を図りながら将来的な課題として取り組むこととしています。
10 今後運転手不足が加速することや、慣れないエリアでの利用が分かりづらいなどの問題がある循環バスではなく、自走式ロープウェイ「Zippar」の導入を検討してもらいたい。JR 新井口駅を拠点として、地区内施設を循環する系統や地区外の観音方面やジ アウトレット広島までの系統を導入できれば良いと思う。 開発中の新たなモビリティなので慎重な検討は必要だが、新たな公共交通として視野に入れていただきたい。	
11 空港と観光地を結ぶドローンタクシーや住宅地方面をつなぐ自走式ロープウェイ「Zippar」なども検討する価値があるのではないか。	
12 JR 新井口駅から広島サンプラザホール代替施設（MICE 施設）へのアクセスについて、東京都の上野動物園における新たな乗り物として選定された省エネルギー型交通システム「エコライド」を提案する。	

意見の要旨		本市の考え方
13	自家用車を使わなくても良いまちづくりを進めてもらいたい。	年間を通じて多くの市民や観光客などが訪れるようにしていくためには、ヒトやモノの動きを支える交通機能の強化が不可欠です。このため、本市が進める広島型の新たな公共交通システム構築の動きと歩調をあわせながら、施設やにぎわいづくりなどのまちづくりの進展に応じたヒトやモノの動きを支える持続可能な公共交通づくりに取り組むこととしています。
14	商工センター地区の中で回遊できることはとてもよいと思う。	
15	電動キックボードは近年利用者の交通マナー違反が目立ち、車などと接触事故の可能性もあるため、他のパーソナルモビリティと共通して使用可能な専用通路を併設すべきである。	パーソナルモビリティを安全かつ円滑に導入するためには、まずは、広く交通ルール等の周知啓発を行うことが重要であり、シェアリング事業者と連携しながら利用者に向けた交通ルールなどの周知啓発を行っていきたいと考えています。 こうした状況なども踏まえながら、区内を円滑に移動できる環境の構築に向けて取り組んでいくこととしています。 いただいたご意見は、今後、具体的な取組に当たっての参考とさせていただきます。
16	アルパークから、草津沼田道路を經由し、広島修道大学や広島市立大学、安佐動物公園方面のバスを運行してもらいたい。	年間を通じて多くの市民や観光客などが地区を訪れるようにしていくためには、交通機能の強化が不可欠であり、市内中心部などからの公共交通によるアクセス改善に向けて、広島電鉄宮島線・市内線の速達性の向上やバス路線の再編等に取り組むことにしています。 いただいたご意見は、今後、具体的な取組に当たっての参考とさせていただきます。
17	草津沼田道路の出入口である商工センター二丁目交差点は、現在、朝の通勤時間帯や夕方の帰宅時間帯に渋滞が発生し、市場の業務車両の通行を阻害している。 今後こうした渋滞はますます悪化してくると思うので、広島南道路の高架部を延伸する際には、当該交差点の立体交差化を必ず実施してもらいたい。	本ビジョンでは、交通機能の強化の取組に係る周辺地域とのアクセス改善として、区内を東西に貫く広島南道路（高架部を含む）について、より一層力を入れて国に要望するなど早期全線完成に向けて取り組むこととしており、高架部の整備などにより、区内の渋滞緩和にも寄与するものと考えています。 いただいたご意見については、国などの関係機関と広島都市圏の幹線道路ネットワークを検討する際の参考とさせていただきます。

意見の要旨		本市の考え方
18	<p>一帯を再開発するのであれば、アストラムラインの延伸先は己斐ではなく井口や五日市の方が妥当だったのではないか。</p>	<p>当地区は、広域的な物流ネットワークの拠点として既に、各方面にアクセスしやすい道路が整備され、また、JR 山陽本線や広島電鉄宮島線の2つの鉄道があるなど交通条件に優れた地区であることから、この地区のポテンシャルを活かして再整備に取り組むものです。</p> <p>なお、アストラムラインの延伸は、議会や市民の意見を踏まえ、西風新都・デルタの循環を創出し、広島広域都市圏の各市町との結びつきを深め、更なる好循環を生み出す広域的ネットワークを形成するために行うこととしたものであり、西広島への延伸が合理的な判断であると考えています。</p>
19	<p>江田島からの朝晩の連絡船(通勤船)を運航してもらいたい。</p>	<p>年間を通じて多くの市民や観光客などが地区を訪れるようにしていくためには、交通機能の強化が不可欠であり、草津漁港への観光船の就航による海からのアクセスを確保することで、陸と海の玄関を備えた人が集まりやすい地区にしていくことにしています。</p> <p>まずは宮島や原爆ドームを結ぶ社会実験運航に取り組み、その後、港周辺のにぎわい施設の需要も踏まえながら航路の定期化や、江田島を含む近隣自治体や島しょ部とのネットワーク拡大を図っていくことにしています。</p>
20	<p>草津漁港と島しょ部をつなぐ航路ができることを期待する。</p> <p>島からアルパークや LECT などの商業施設に行きやすくなり、さらに、通勤に利用できれば生活用の定期航路も期待できる。</p>	
21	<p>草津漁港からマリーナホップ跡地や宮島までフェリーでつなげば、観光客の利便性も良くなり、瀬戸内海ならではの良さも感じてもらえるのではないか。</p>	

エ にぎわいに関すること：7件

意見の要旨		本市の考え方
1	散歩やランニングができるような通路を整備してもらいたい。	にぎわいを特定の施設だけでなく地区全体に拡大していくため、地域や商業施設、地区内事業者が連携してイベントを開催するとともに、施設をつなぐ回遊ルートとなるペDESTリアンデッキや西部周遊緑地などにおいて、イベントに活用できる新たなにぎわい空間や歩きやすく憩える公共空間を整備していくこととしています。 いただいたご意見は、今後、具体的な取組に当たっての参考とさせていただきます。
2	朝市やマルシェ、クラフトマーケットなどを開催してもらいたい。	
3	草津漁港は、門司港レトロや唐戸市場のように一般の人が飲食できるような場所にしてもらいたい。	現在、本市が進めている新中央市場の整備において、世界遺産の宮島や広島湾の島々を展望できるスペースや、市場で取り扱う生鮮食料品などを活用した飲食店などを整備する予定としており、こうした市場のにぎわい施設と連携しながら、周辺のエリアにおいても飲食・物販施設等の立地を誘導していくこととしています。 いただいたご意見は、今後、具体的な取組に当たっての参考とさせていただきます。
4	中央市場に、海や宮島を眺めながら海産物を味わえる2階建の施設を整備し、唐戸市場や境港、韓国釜山市場、鳥取賀露港のようなにぎわいを創出してもらいたい。	
5	かき小屋は、海を眺めながら焼き牡蠣や焼き魚などが味わえる場所とし、簡易トイレは見直してもらいたい。	
6	現在の草津漁港は一般客が近寄りがたいため、唐戸市場のように一般客も利用できる大型施設を整備してもらいたい。	
7	主要な観光ルートの結節点は広島空港、岩国錦帯橋空港、広島駅が中心となっており、また、豊洲市場などのような施設がない草津漁港に市民や観光客が訪れる需要があるのか疑問である。	現在、本市が進めている新中央市場の整備において、世界遺産の宮島や広島湾の島々を展望できるスペースや、市場で取り扱う生鮮食料品などを活用した飲食店などを整備する予定としており、こうした市場のにぎわい施設と連携しながら、周辺のエリアにおいても飲食・物販施設等の立地を誘導していくこととしています。 こうしたにぎわいづくりと並行して、草津漁港への観光船の就航による海からのアクセスを確保していくものです。

オ その他：12件

意見の要旨		本市の考え方
1	西区スポーツセンターを移設し、規模を拡大して利用しやすくしてもらいたい。	西区スポーツセンターについては、将来的に耐用年数や地域の利用状況を踏まえ建替えなどを検討していくことになると考えています。
2	商工センター地区に有名企業や漁港が立地しているメリットを活かして、関連する大学を誘致し、シリコンバレーのように地元企業とのタイアップを促進することで、若者の定住率や経済活力の向上につながるのではないか。	いただいたご意見は、当地区の整備に当たって、流通業務に関連する施設のほか、商業施設や教育・医療機関など様々な機能を持つ施設を配置し地域のポテンシャルを高めるという発想であり、まちづくりを地域と連携して進めていく過程で重要と考えています。
3	広島若者流出対策として、広島大学と広島修道大学・広島工業大学の間を埋めるレベルの大学の分校を誘致してはどうか。	本市全体の活性化を図っていく中では、どのような機能まで持たせるべきかという視点に立ち、新たな施設の立地も考えていく上での参考とさせていただきます。
4	高等専門学校や専門学校などの教育機関、波動医学や東洋医学などの予防医学を取り入れた医療機関があると良いのではないかな。	
5	福山市老人大学のように、大人が学べる場所があると良いのではないかな。	
6	平日の午前中などは地元の高齢者、平日夕方以降は学生や会社員、休日は家族連れが集うカフェを併設した現代的な図書館をアルパークに誘致してもらいたい。	
7	ひろしまスタジアムパークの「HiroPa（ヒロパ）」のような、こどもが楽しめる施設が必要ではないかな。	
8	プールやスケートリンクなど複数のレジャー施設を建設するなど、より特化した需要を狙うべきではないかな。	
9	地元の名物として、オタフクソース博物館からのお好み焼きロードや、アルパークに広島駅などにあるようなお好み焼き店が集まる施設など、宮島観光客や地区内の企業に出張にきた方への接待ができるような飲食施設を充実させてもらいたい。	
10	広域から人を集められる施設として、築年数の経った県庁舎を移転させてはどうか。	広島県からは、県庁舎の移転計画はないと聞いています。
11	タワーマンションの建設は反対である。	マンションの建設については、建築主において関係法令等に基づいて実施されるものと考えています。

	意見の要旨	本市の考え方
12	<p>こどもたちが将来にわたって健康に利用できるよう、建築資材は地産地消の木材や自然素材を活用するなど、温かみがあり電磁波の少ないまちづくりをしてもらいたい。</p>	<p>本市では、限られた地域資源を活用することにより、圏域内の全ての住民が豊かな生活を享受できるよう、ヒト・モノ・カネ・情報の循環を基調とする「ローカル経済圏」の構築を目指しています。</p> <p>建築用木材の利用についても地域経済の活性化に資するものとして、公共建築物等の木造化などに取り組んでいるところです。</p> <p>なお、電磁波については、国において一定の基準が示され規制等が行われています。</p>